

## 子供の製品事故防止・減少のために、消費者団体、製造・販売等の事業者、行政機関が協力し行っている電子媒体による広報広聴活動の取組について

標記のテーマについて、フランスにおいて複数の団体が協力している事例は、次のとおりである。最初に一覧表にまとめたもの、続いて各主体の活動を個別に記載する。

主体	主体の名称	協働・連携	事例
行政機関	経済・財務・産業及びデジタル主権省 競争・消費・不正防止総局	行政機関－非営利社団 行政機関－製造・販売等の事業者	啓発冊子作成 消費者によるアラートの枠組み
行政機関	行政法人フランス公衆衛生機構	行政機関－学識経験者－非営利社団	総合情報サイト「はじめの1000日間」1000 premiers jours.frの運営
公施設法人	国民消費研究所	行政機関－消費者団体－事業者	注意喚起映像作成
事業者団体	フランス保険業者協会	事業者団体－非営利社団	啓発冊子作成
非営利社団	カリキシ	非営利社団-事業者-行政機関-大学	啓発冊子作成 ワークショップをHPで紹介
事業者	ビューローベリタス	事業者－製造・販売等の事業者	クリスマスの安全キャンペーン
事業者団体	フランス洗剤・リビングケア製品・事業者用衛生製品 産業協会	製造・販売等の事業者団体－非営利社団	注意喚起映像作成
事業者団体	フランス乳幼児向け玩具産業連盟	製造・販売等の事業者団体－行政機関	総合情報サイト「はじめの1000日間」1000 premiers jours.frの紹介

○経済・財務・産業及びデジタル主権省 競争・消費・不正防止総局  
DGCCRF (Direction générale de la concurrence, de la consommation et de la répression des fraudes)

消費者安全の観点にたち様々な政策をとっている国の主幹省庁である。

子どもの事故防止対策として、HPでの情報提供や印刷物の作成、事故を届け出る専用ウェブサイトの運営、消費者相談などを元に市場から収去された商品や税関が取り押さえた製品の試験などがある。今回の調査依頼事項関連としては下記の2つがある。

・パンフレット「子どもを家庭の事故から守るには」Protégez votre enfant des accidents domestiques 作成 **【行政機関－非営利社団】**

本冊子は、独立行政機関フランス消費者安全委員会 (Commission de la sécurité des Consommateurs (諮問機関、2017年に廃止))、Calyxis (後述)、旧保健省、国民健康保険組合、フランス公衆衛生監視研究所 (Institut de veille sanitaire) <sup>※注1</sup>、国の健康予防啓発機構 (Institut national de prévention et d'éducation pour la santé) <sup>※注2</sup>との協力のもとに作成された。(作成年は不明)

保護者へ向けて、子どもを各種のリスク(窒息・転倒・感電など)から遠ざけるという意味で保護者がとるべき行動を具体的に説明している。

「子どもを家庭の事故から守るには」

<https://www.economie.gouv.fr/files/files/2019/PDF/protegez-votre-enfant.pdf?v=1647872483>

※注1、注2 いずれも2016年、後述のフランス公衆衛生機構（Santé Publique France）へと統合改編された。

・ウェブサイト「消費者シグナル（Signal Conso）」の運営

**【行政機関－製造・販売等の事業者】**

消費者が、商品瑕疵や事故情報、不正なサービス・取引等の企業などとのトラブルを行政へ報告することができるウェブサイトである。管理者は相談・苦情を企業に伝達し、改善策など対応を求める。必要に応じて、商品テスト、事業者による商品回収や法律違反の指摘が行われる。

<https://www.signal.conso.gouv.fr/>

○行政法人 フランス公衆衛生機構（Santé publique France）

**【行政機関－学識経験者－非営利社団】**

・子どもの誕生を待つ親及び2歳未満の子どもをもつ親を対象に、健康・安全に関する情報を提供するウェブサイト「はじめの1000日間（1000 premiers jours.fr）」の運営

妊娠期間から子どもが2歳になるまでの期間は、大人にとっては人生の激動期であり、子どもにとっても成人以降の健康を左右するといわれる重要な時期である。この時期に親も子どもも健康・安全に生活できるように、子どもを迎えるまでの準備や、親になってからの生活環境整備に関する情報を提供する。親が不安や疑問に思うようなテーマを選び、科学的に実証された情報を届けることが主眼である。

同ウェブサイトは、子どもの健康・安全・養育にかかわる数多くの省庁（連帯・健康省、エコロジー連帯・転換省、経済・財務省など）、行政法人（環境・エネルギー管理機構など）、国民健康保険組合、学識経験者、各種非営利社団、子供の誕生を待つ親及び親になりたての人たちからの情報提供により行われている。

特に、「家庭内の子どもの事故を防ぐには」という専門ページを設け、転倒、火傷、誤飲などのリスク及び対策を紹介し、あわせて国民健康保険組合の関連サイトもリンクで紹介している。

ホームページ「家庭内の子どもの事故を防ぐには」

<https://www.1000-premiers-jours.fr/fr/eviter-les-accidents-domestiques-des-enfants>

○国民消費研究所（Institut national de la consommation）

**【行政機関－消費者団体－事業者】**

消費担当大臣の管轄下におかれた商工業的性格の公施設法人で、公益に基づき収益を上げながら活動を行うことができる団体である。消費者団体への支援や助言、消費者問題の調査・情報提供及び研究を行う。消費者の代表や国の代表、産業界の代表などで構成される意思決定機関を有する。製品やサービスの比較テストを実施し、年間に300万部以上が発行される消費者情報専門誌「6000万人の消費者（60 Millions de consommateurs）」、テレビの啓発スポット番組「コンソ・マグ（Conso.mag）」で国内では知られており、それらのコンテンツはインターネット上

で有料または無料でアクセス可能である。

子どもの家庭内での事故を防ぐ目的で啓発活動を行っており、中でも下記の啓発ビデオを作成し、団体のウェブサイト等で公開している。

・ビデオ「幼少期の家庭内事故を防ぐための行動 (Les gestes de prévention des accidents domestiques pour les jeunes enfants)」

<https://www.inc-conso.fr/content/les-gestes-de-prevention-des-accidents-domestiques-pour-les-jeunes-enfants>

#### ○フランス保険業者協会 (Association des assureurs français) 【事業者団体－非営利社団】

当該協会のウェブサイト ASSURANCE PREVENTION 上で、子どもの家庭内での事故予防を目的に「家庭内の事故から子どもを守るには」Accidents domestiques : protéger les plus jeunes というコンテンツを掲載するなど、このテーマに関する情報提供を行っている。なかでも、「家庭で安全に過ごすには (En toute sécurité à la maison)」という冊子をカリキシ (Calyxis) という非営利社団 (後述) と共同で作成し、家庭内のリスク及び事故防止策、さらに事故への対応などに関する啓発を行っている。

パンフレット「家庭で安全に過ごすには」

<https://www.assurance-prevention.fr/file/3293/download>

#### ○カリキシ Calyxis

#### 【非営利社団－事業者－行政機関－大学】

カリキシは、ヌーベル・アキテーヌ地方に拠点を置く、主に日常生活におけるリスクや自然災害リスクへの対策を提供する非営利社団である。複数の共済保険事業者、都市圏共同体などの地方団体そしてポワチエ大学の発意により設立された。

活動の柱は、①事故防止のための情報提供・啓発、②製品使用上の動作をより現実的に考慮した製品試験、③リスク把握・分析などの研究活動、の3つである。

また、大学でリスク管理を学ぶ学生の研究の場にもなっており、学術研究拠点としての役割も果たしている。

政府との協力で生まれた啓発パンフレットについて上述 (1 ページ目) のとおりだが、連携先は行政機関に留まらない。学校や企業、各種団体からの依頼を受けて研究や試験、講習・ワークショップなどを受託している。事業者 (ライター製造者など) が、安全に配慮した製品開発を行うために基礎研究を依頼したケースもある。このカリキシには、共済保険事業者に寄せられる事故の情報を、今後の再発防止につなげることができるという強みがある。

ワークショップのなかには、子どもを直接対象にした家庭内事故防止を促す内容のもの、また大人の体験型学習 (家具等を子どもから見た大きさに変えて子供の生活を体験できる) もあり、展示パネルやゲームなどを用いて遊びながら楽しく学べる安全教育を提案している。

いずれの活動も同団体のウェブサイト等を通じ写真や映像を交え広報がなされている。

Calyxis <https://www.calyxis.fr/>

ワークショップの詳細

<https://www.ateliersdeprevention.com/-nos-ateliers-de-prevention-.html>

○ビューローベリタス (Bureau Veritas)

**【事業者—製造・販売等の事業者】**

ビューローベリタスは、製品の第三者試験・検査・認証を行う機関として、消費者の安全を確保する業務を行っている事業者である。

2016年の12月に同機関の公式HPに、クリスマスのプレゼントにより子どもが晒されるリスクに関して、玩具業者（バンダイ）の証言を交えながら、啓発のための記事を掲載している。

具体的には、玩具の発火、破損、さらに子どもによる誤飲などの事故防止を目的に同機関が実施する安全試験の内容を、消費者にわかりやすく紹介している。

この中で消費者へのアドバイスとして、商品に「CE（EUの安全基準を満たしているという認証）」マークがついているかどうか、また市販者の住所がEUであるかどうかの確認をよう促している。特にバンダイは、玩具の対象年齢は使用上の安全性の観点で設けられているので、子どもの発育状況にかかわらず必ず守ってほしいと話している。

クリスマスの安全キャンペーン

<https://www.bureauveritas.fr/magazine/jouets-de-noel-comment-sassurer-quils-ne-presentent-aucun-danger>

○フランス 洗剤・リビングケア製品・事業者用衛生製品 産業協会

(AFISE Association professionnelle qui rassemble en France les Industries de la détergence, des produits d'entretien et des produits d'hygiène industrielle)

**【製造・販売等の事業者団体—非営利社団】**

この団体は、洗濯機に入れるカプセル状の洗剤を子供の手の届かないところに置くようにとする、欧州規模の業界団体のキャンペーンに参加している。団体のウェブサイトからキャンペーンへのリンクを貼っている。この取組は、非営利社団全国民間保育園連盟 FFEC (Fédération française des Entreprises de Crèches) と連携し行われている。

AFISE のHP <https://www.fher.org/dossiers/les-capsules-de-lessive/>

家庭用洗剤による事故を防ぐための啓発ビデオ <https://www.keepcapsfromkids.eu/>

○フランス乳幼児向け玩具産業連盟 (Fédération Française des industries Jouet puériculture)

**【製造・販売等の事業者団体—行政機関】**

同協会は、玩具製造者としての利益を代表する団体で、販促活動のみならず安全な商品を選び安全に使用することに関し消費者向けに注意喚起を行っている。

団体の公式ウェブサイト、玩具を含めた育児製品全体の安全ガイドを詳細に説明する中で、さらに役立つ情報があるとして、前述のフランス公衆衛生機構主催の情報サイト「はじめの1000日間 (1000 premiers jours)」のアプリをダウンロードするよう促している。

<https://www.fjp.fr/accompagner-les-parents-au-quotidien/les-articles-de-puericulture/>